生徒心得

令和6年2月17日 改正

生きていくにあたり

社会に通用するよう、自らを律し常に相手のことを思い、互いに認め、尊重できる関係を築けるような人間になるよう心掛け生活すること。

- (1) 人に対しては常に尊敬、理解の念を抱き接すること。
- (2) 生徒同士仲間意識を高めるとともに相手の立場・気持ちを考え接すること。
- (3) 自ら感情や行動をコントロールし接すること。
- (4) 自分らしさを常に考えること。
- (5) 自分自身を大切に、周りの人を大切にすること。

めざす生徒像

進路希望を語ることができ、その実現に向けて日々成長を続けることができる生徒

貝塚高校を愛し、本校生としての自覚と誇りを持って、自分自身も仲間も大切にできる生徒

学校行事や部活動、地域交流等に積極的に参加し、つながることの大切さを実感できる生。

一人ひとりの違いを認め、互いに協力し合い、高めあうことができる生徒

生徒心得（細則）

貝塚高校生全員が、安心・安全に登校できること、並びに、個々の進路や夢の実現のため、以下の事柄については遵守すること。

【いじめを許さない】

いじめ・嫌がらせは、受けた生徒が安心して登校できなくなる、生活ができなくなることから絶対にしないこと。もし、いじめ・嫌がらせを受けて困っていたら、担任・教育相談室・保健室・相談しやすい先生に声をかけてください。

自分自身、仲間同士で問題が起こったとき、また、いじめ・嫌がらせを受けている友達を見たり聞いたりしたときは、先生に話しをしてください。

いじめは絶対に許されません。

【禁止事項】

次の行為をした生徒は、懲戒（訓告・停学・退学）の対象となる。

1. 法令違反（同席も含む）

- (1) 大麻、マリファナ、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナーなどの薬物乱用
- (2) 出会い系サイトへの誘引行為、援助交際、売春、買春
- (3) 窃盗（万引き）、恐喝、賭博、不正乗車
- (4) 飲酒、喫煙、暴力、故意の器物破損、暴走行為
- (5) 本人の許可なく写真や動画の撮影（盗撮）やSNSへの無断アップ
- (6) 火器類、刃物、その他危険物の持ち込み
- (7) その他の犯罪行為

2. 問題行動

- (1) 対教師暴言
- (2) 授業や考査の妨害
- (3) 定期考査の不正行為
- (4) バイク・自動車での登下校及び制服・体操服での運転
- (5) いじめ、嫌がらせ、人権侵害
- (6) 怠学
- (7) タトゥ・入れ墨
- (8) その他の問題行動

【その他の禁止事項】

- (1) 授業の妨げとなる行為
- (2) 無断の欠席、早退や無許可外出
- (3) 制服の変形
- (4) 染髪や脱色、パーマ、エクステ、カツラや極端な髪型
- (5) ピアス、ネックレス、その他の装飾品や化粧・カラーコンタクトの着用
- (6) サンドル、スリッパ、下駄、ヒールなどでの登校

【着こなし】

- (1) 制服はすべて本校指定品に限る。
- (2) 11月1日から4月30日までを冬服期間としブレザーを着用すること。
ただし、期間については気候により弾力的に運用する。
- (3) 防寒着（コート、ジャケットなど）はブレザーの上に着用すること。
ブレザーを着ないで防寒着を着用することは禁止する。
- (4) 教室内では、帽子、防寒具（マフラーなど）を脱ぐこと。
- (5) ブラウス、カッターは通年で長袖・半袖のどちらを着用してもよい。
- (6) セーター、カーディガン、ベストは、時期を問わず着用してよい。
- (7) 休日に部活動などで登校する時は、制服または本校体操服を着用すること。
- (8) クールビズ期間を除き、ネクタイ・リボンを着用すること。

【校内生活】

- (1) やむを得ない場合を除き、欠席、遅刻、早退はせず、学業に励むこと。
- (2) 挨拶を励行すること。
- (3) 授業遅刻や携帯電話の使用など、他人に迷惑をかけないように心掛けること。
- (4) 貴重品は常に身につけ、盗難被害に遭わないよう万全を期すこと。不必要、または高額な金品を学校に持ってこないこと。持ってこなければならない場合には、担任などに預けること。所持品についても記名し、自己管理を徹底すること。
- (5) 登校後は外出禁止。やむを得ず外出しなければならない場合は担任の許可を得ること。
- (6) 校舎や備品は大切に扱うこと。万一、誤って破損した場合は、担任まで申し出ること。
- (7) 金品の貸し借りはしないこと。
- (8) 食堂の利用は、ルールやマナーを守ること。
- (9) 下校時刻は4時50分とし、以降は教員の付添が必要となる。また、休日の活動には必ず教員の付添が必要となる。

【通学】

- (1)通学は、交通規則やマナーを守るとともに、事故に巻き込まれないよう十分注意すること。
- (2)許可された方法で通学すること。
- (3)自転車は「車両」であることから道路交通法が適応される。自転車で事故を起こした場合、自動車と同額程度の多額の賠償責任を負うことを理解し、より一層の安全確認・安全運転を心掛けること。
- (4)万一、自転車事故を起こしてしまった際に、自らの治療費や、相手への多額の賠償費用を支払うために、必ず自転車の任意保険に加入しておくこと。
(大阪府の条例により義務化されています)
- (5)自転車通学者は、鑑札(ステッカー)を自転車後輪周辺に貼ること。スタンドがない自転車や公道使用が禁止されているアクセル付き自転車(フル電動自転車)や電動キックスクーターは許可しない。
- (6)踏切遮断による遅延については認められません。徒歩および自転車通学者は、踏切を通過しない通学路を探しておいてください。

【写真・動画の撮影とSNSの利用】

法律上、本人の許可を得ずに写真や動画を撮影することは「盗撮」とされ、また、SNSに無断でアップすることも「肖像権の侵害」として警察事案となります。学校内だけでなく、校外活動(遠足や修学旅行など)や個人的な行動中においても、相手のことを考え、声をかけてから撮影するなど十分な配慮をすること。

また、友人や自らの「悪ふざけ」や「反社会的行動」を写真や動画としてSNSにアップすることは、広く世界に拡散され、自分自身はもとより周りの人に対し多大な損害を与えることにもなり、一生その責任を負うことになる。何をすべきかを考え、正しく使用すること。

【携帯電話・スマートフォンの利用】

携帯電話やスマートフォンは、たいへん便利である反面、自分では気づかないうちに依存症になっている人が多い。また、SNSを利用することで、裏バイトや詐欺事件・誘拐事件等の犯罪行為に加担したり巻き込まれるといったケースが急増している。甘い言葉や誘いには乗らず、時間・場所・利用方法などを熟考して利用すること。

【悩み・不安の相談】

悩み・不安・その他の相談がある場合は、教育相談室を利用してください。詳しくは、別に記載する「教育相談」および「学校外の相談機関」の頁を参考にしてください。

【アルバイト】

アルバイトは、保護者の責任で判断してもらうこと。